

### グループ全体の環境負荷はどうなっていますか？

JR東日本グループは事業を行うにあたり、多くの資源を消費し、さまざまな物質を環境中に排出しています。このインプット、アウトプット(資源・エネルギーなどの収支)両面における環境負荷を低減するため、数値の把握に努めています。

## INPUT

インプット

### エネルギー

- 電力 62.1億kWh (うち自営電力が56%)
- 都市ガス 1,040万m<sup>3</sup>
- その他の燃料 8.2万kℓ(原油換算)

### 水

1,170万t

### OA用紙

1,606t (うち再生紙が99%)

### エネルギー

- 電力 8.9億kWh
- 都市ガス 3,287万m<sup>3</sup>
- その他の燃料 5.3万kℓ(原油換算)

### 水

1,031万t

### OA用紙

1,847t (うち再生紙が73%)



## OUTPUT

アウトプット

### CO<sub>2</sub> 排出量

220万t-CO<sub>2</sub>

### 一般廃棄物

- オフィス 2,749t
- 駅・列車 49,007t
- 車両工場 1,771t
- 切符 760t

### 産業廃棄物

- 施設工事 651,701t
- 車両工場 22,151t
- 医療系 102t

### CO<sub>2</sub> 排出量

54万t-CO<sub>2</sub>

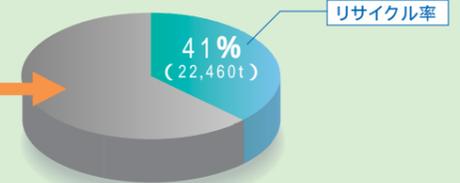
### 一般廃棄物

74,130t

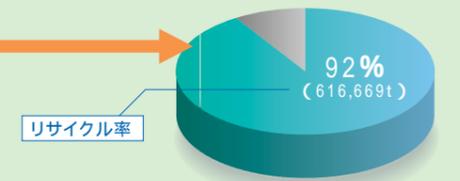
### 産業廃棄物

58,399t

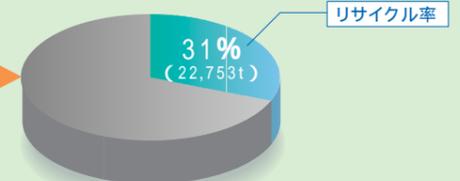
一般廃棄物(54,287t)



産業廃棄物(673,954t)



一般廃棄物(74,130t)



産業廃棄物(58,399t)

